

なんで「その0」かと言うと、11月号に「その1」はすでに作ってあったから。皆さんがかわいすぎて急ぎで「0」がいた。

自問自答

その0

発行人:

と、いうわけで、明日、第1号が

広島市立己斐上中学校 進路通信

配られます

の、何かしら
わかります?



7日の学年集会、みんな
話を聴く様子に感動。

先週初めて、ほのぼのの広場に集まり

3学年の先生から一言ずつご挨拶。

④「フレッシュな順で」と土脇先生に言われた

時には自然に足が一步前に出てしまいました。



その瞬間、きっちり土脇先生からつつこみが入り、学年主任として見事に仕事をされてましたね〜。

さて、私からは進路担当として挨拶しました。「この1年、君らが持っている力を100%出しなさい。と言っても、自分1人ではなかなか100の力って出せません。だからまずは半分でもいい。50の力を何とかして自分で出しなさい。周りの仲間が20の力を足してくれる。あとはここにいる先生たちが10ずつ足していく。そうすれば君らの力は100を超える。」

受験は団体戦だとよく言われます。アフリカの諺(ことわざ)にも「早く行きたければ一人で行け。遠くに行きたければみんなで行け」という言葉があります。この諺は土脇先生も好きな諺です。そんな土脇先生が、この学年を「助け合えるチーム」として、「愛のある家族」として、1年生の頃から創り上げてきたことを私は知っています。皆さんなら遠くまで行けるんじゃないかなあと、私は思っています。

ついでに付け加えておきましたが、私(バックパッカー)が進路担当を務めるということは、もうわかりですね。次の3年間は国内での進学になる可能性が大きいでしょうが、その先は、、、世界を視野に入れておきなさい。高見先生みたいに、学生のうちに「姉妹都市」企画で海外に行くチャンスもあります。学ぶ場は何も日本に限りません。これから先の人生「よく学び、よく遊べ」であってほしいと思います。ちなみにここで言う遊び場は地球です。

最後に、受験と言えば「記憶」は欠かせない。記憶に関する研究はいくつも発表されていますが、ワシントン大学の実験でわかったこと。「暗記」3 : 「問題集」7 が勉強の黄金比らしいですよ。インプットとアウトプットの黄金比は 3 : 7。間違えてもいいから、どんどん問題を解いていこう。短時間で教科書を暗記し、その倍の時間を、問題を解くことに振り向ける。もしかしたらこれが最も効果的な記憶法かもしれません。もちろん個人差はあるでしょうから、試してみてください。

ちなみに2週間に3回使った情報は長期記憶されるとも言われています。2週間で3回以上アウトプットしてみる、つまりは復習してみる、これもまた試してみてください。私の場合、自慢じゃないが相当「記憶力」が優れています。ただ、「忘れる力」がそれを上回るくらい優れているので、結果、よく忘れます。でも細かいことはバックパッカーなので気にしません。皆さんはまだパッカーじゃないので頑張ってください。

令和5年4月11日（火）

自問自答

その1

発行人 これから1年、進路に関すること

広島市立己斐上中学校 進路通信

旅に関すること？ など書いていきまわ〜



「自問自答」…自ら問い、自ら答えること。自ら疑問を起し、自ら解決すること。（広辞苑より）

この言葉をテーマにこれから一年間、皆さんと一緒に過ごしていきたいと思います。なぜ、「自問自答」なのか？ それは進路決定という大きな山場を迎える皆さんにとって、この「自問自答」という行いが欠かせないからです。「これまでの自分はどうかだったのか？」「これからの自分はどんな自分でありたいのか？」そのためにできることは何なのか？」など、しっかりと考える時期なのです。

なかなか答えが見つからなくても構いません。簡単に見つからなくて当然なのです。答えが見つからなくて苦しくて、道に迷いそうな時、ちょっとしたお手伝いをするために先生達は皆さんの側にいます。ただしあくまでも考え抜くのは皆さん自身、自問自答を繰り返し、自らの進路を切り開いていってください。

これから一年間、進路についての情報などを、この進路通信「自問自答」で伝えていきますので、必ず読んで保護者の人にも渡してください。

1年間の主な計画（予定）

月	進路関係	主な学校行事
4	祝！受験生！！	入学式、授業参観
5	教育相談	体育祭
6	実力テスト①（模擬試験）、I 期末テスト	生徒総会
7	三者懇談	職場体験、大掃除
8	実力テスト②（模擬試験）	登校日
9	教育相談	合唱取り組み
10	実力テスト③（模擬試験）、進路説明会	己斐上フェスタ、予備懇談会
11	II 期末テスト、模擬面接、三者懇談（11月末）	福祉教育
12	三者懇談（12月頭） ☆受験希望校決定懇談	生徒会トレセン
1	III 期末テスト、教育相談	小中連携授業参観
2	私学入試・公立入試（2/27~29 かな?）	中学校生活説明会
3	公立合格発表（3/8 かな?）	大掃除、卒業証書授与式

私も教員生活30年目を迎えました。30歳を過ぎた頃（ちょっと周りをみる余裕ができた頃）からですかね。毎年「これが最後の一年」のつもりでやっています。なぜか？ 早く辞めて思いっきり旅に出たいからでしょ、って、正解！ いや、正解ちゃうがな。うん、まあ、違うとも言い切れんけど（--

そうじゃなくて、先生たちには、今年、もし手を抜いたとしても（抜かんけどね）「来年」があります。来年もきっと「先生」をしているでしょう。でも君たちにとっては、人生最初で最後の「中学3年生」。人生でたった一度きりの「中学3年生」なんですよ。そう考えたらずよ、こちらとしても「これが自分にとって最後の一年だとしたら」というつもりでやらないと失礼だよなあ、悔いが残るよなあって思ってますね。というわけでこの一年間、一生懸命、お互いに自問自答していきましょう!!